

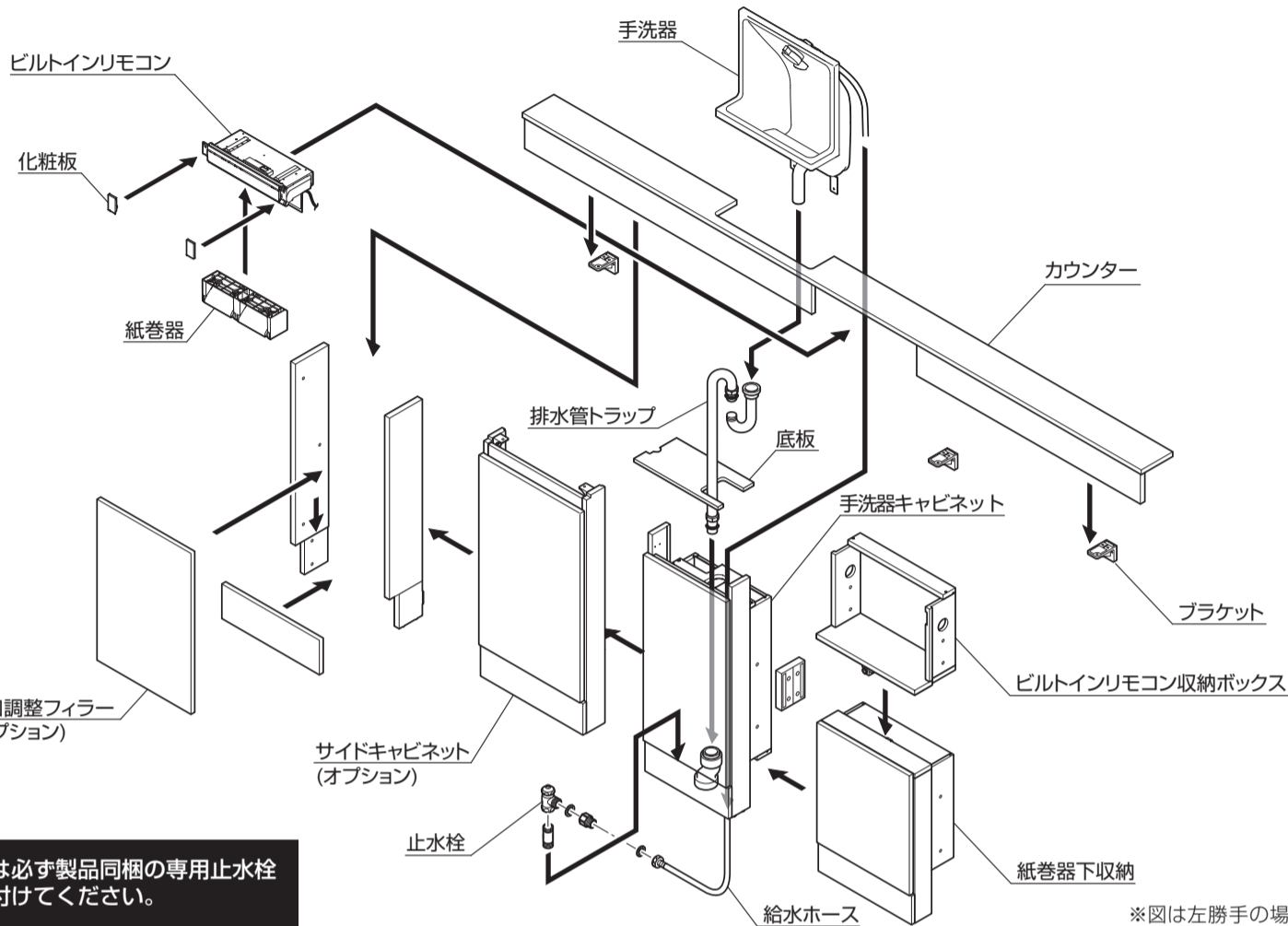
TOTO

レストルームドレッサー システムシリーズ

Sサイズ (ULF 1B/1C)

このダイジェスト版は、おおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。
 施工にあたっては、施工説明書本編とあわせてご確認ください。
 施工説明書本編にある安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

※右に示すイラストは、本商品の一例です。
 トイレ寸法や商品選定タイプ、オプション選択有無により、部材の形状や設置位置、取付方法などが異なります。
 なお、オプションの間口調整フィルター・サイドキャビネットの取り付けについては、本編をご参照ください。



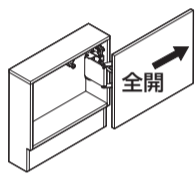
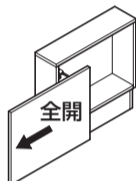
※図は左勝手の場合。

工事店様へ

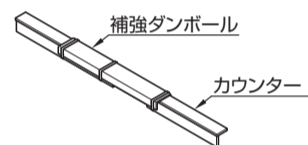
□スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください。

左スライドの時

右スライドの時



□カウンターの補強ダンボールは、切欠部保護のため、カウンターをねじで仮固定するまで外さないでください。



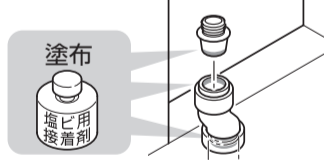
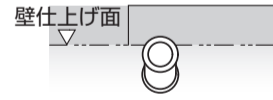
止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

ステップ1 1 施工前の準備 2 給排水管 3 ブラケット 4 オプション部材 本編 P.22▶P.30 ステップ2 ステップ3 ステップ4 ステップ5

1 施工前の準備 (けがき)

▶本編P.22~23参照

1 排水ソケット

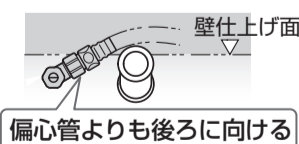
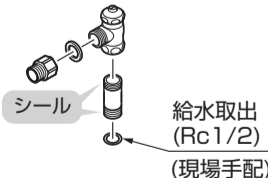


2 給水管・止水栓

止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

※図はハンドル式水栓の場合

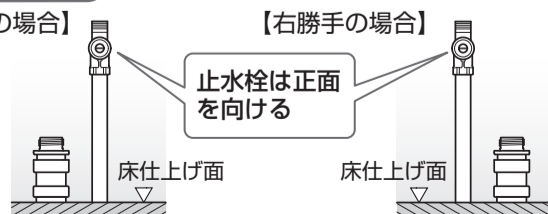
ハンドル式水栓の場合



自動水栓の場合

【左勝手の場合】

【右勝手の場合】



2 排水ソケット・給水管・止水栓

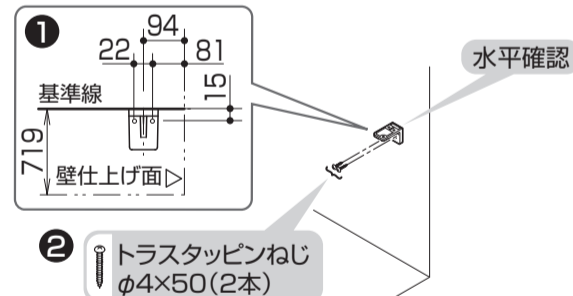
4 間口調整フィルター・サイドキャビネット (オプション)

▶本編P.26~30参照

3 ブラケット

1 ブラケット

※プランによってブラケットの位置・個数が異なります。
 ※使用しないブラケットが生じる場合があります。
 ※残りのブラケットは、カウンター設置直前に取り付けてください。▶6 カウンター 参照



前方にブラケットがつく場合

【金属ブラケット (ブラケット小)※1】

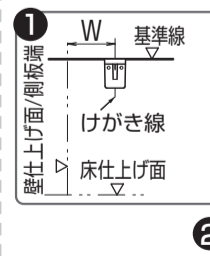
トラスタッピンねじ
 φ4×50(2本)

▶B寸法は本編P.23参照



【樹脂ブラケット※2】

トラスタッピンねじ
 φ4×50(2本)

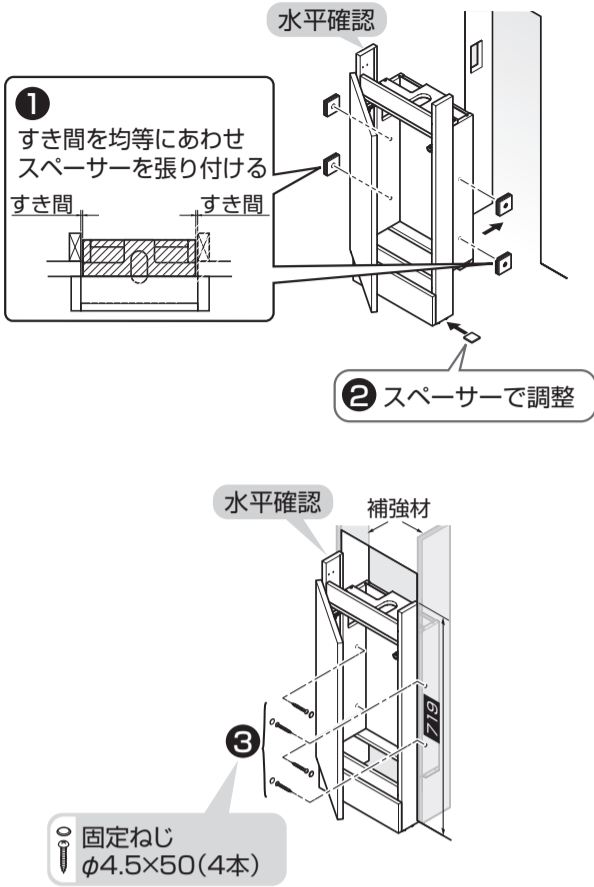


W寸法	1方エプロン	2方エプロン
金属ブラケット(ブラケット小)	B-166	33
樹脂ブラケット	79	62

※1 カウンター長さ: 1227~1479(1方エプロン)、
 1378~1468(2方エプロン)、
 1791~1916(2方エプロン)
 ※2 カウンター長さ: 1480~1521(1方エプロン)、
 1469~1790(2方エプロン)

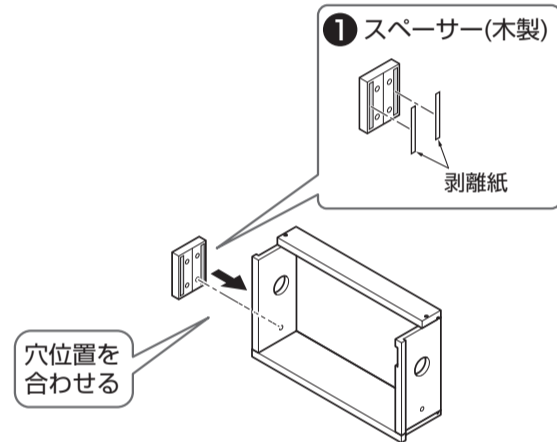
手洗器キャビネットのみの場合

1 手洗器キャビネット

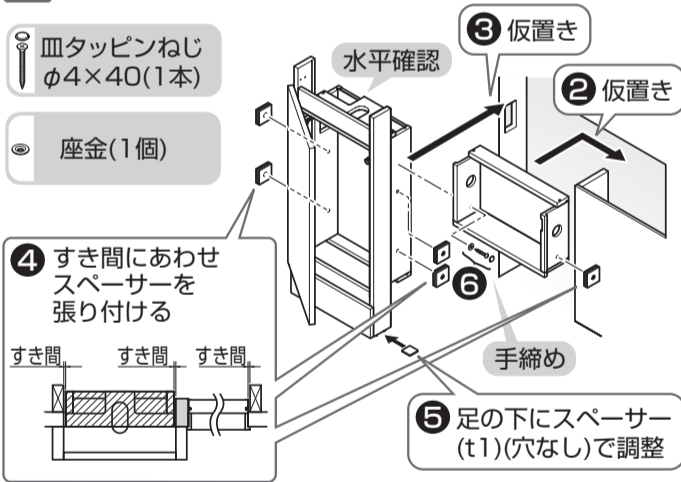


手洗器キャビネット・ビルトインリモコン埋込ボックスの場合

1 部材の組み立て

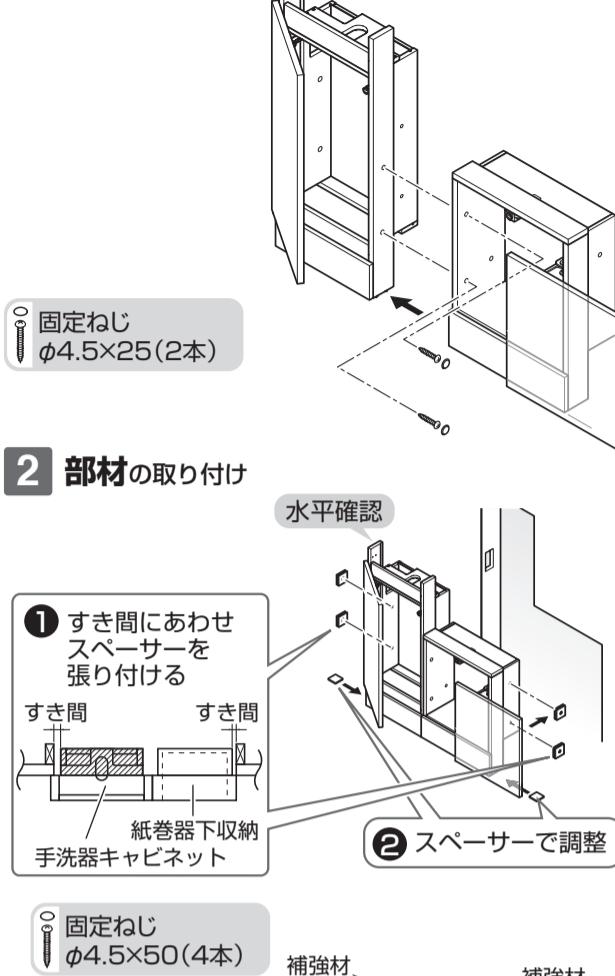


2 部材の取り付け

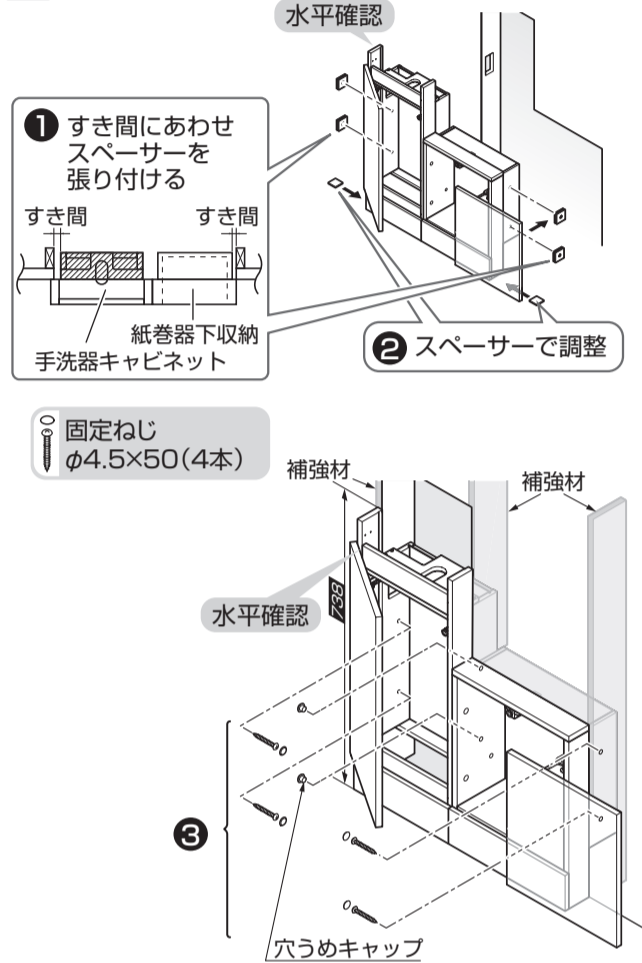


手洗器キャビネット・紙巻器下収納の場合

1 部材の組み立て

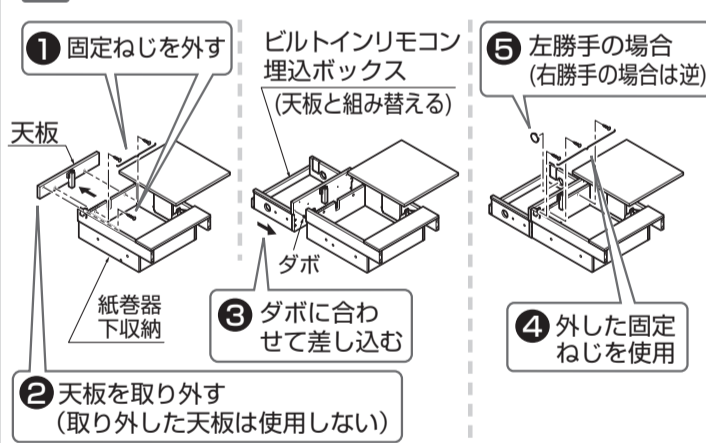


2 部材の取り付け

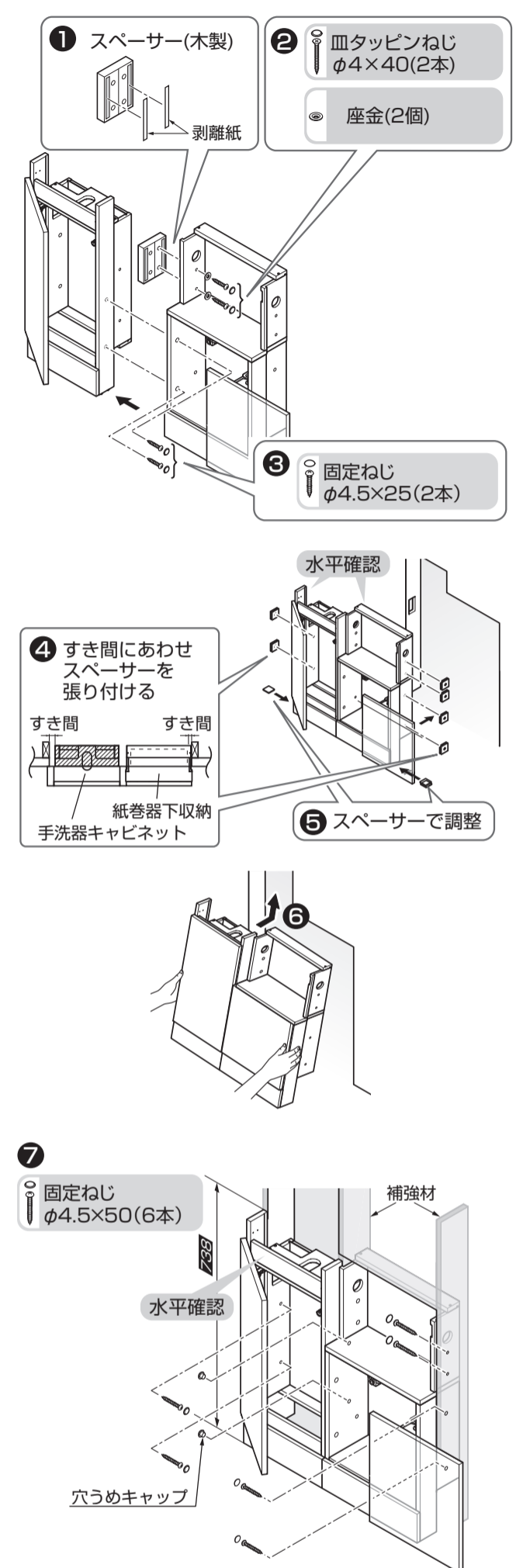


手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン埋込ボックスの場合

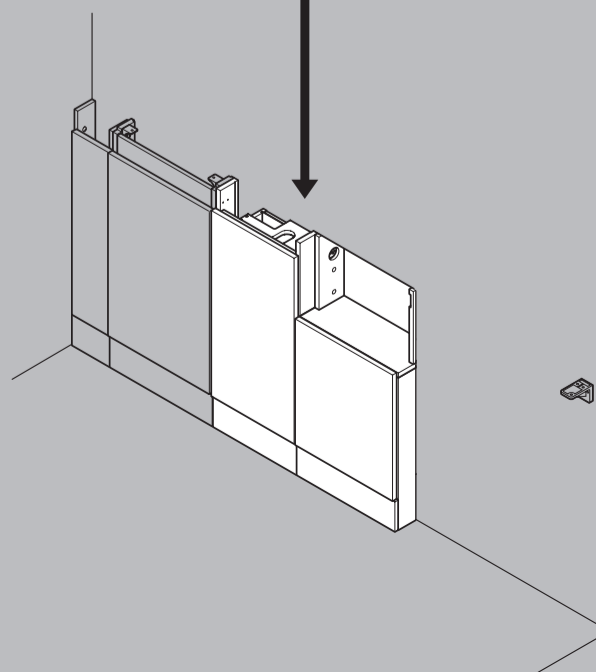
1 部材の組み立て



2 部材の取り付け



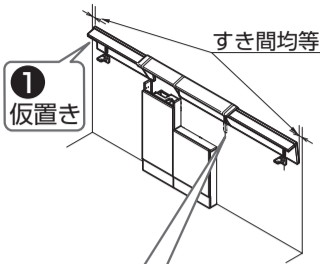
5 手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン埋込ボックス



※図は左勝手の場合。

1 中間ブラケットの取り付け

1方エプロンの場合

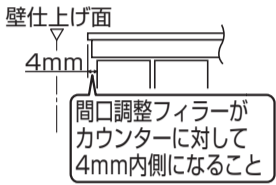


2 カウンター裏面の印をガイドにブラケット取り付け中心位置をけがく

3 ブラケットのセンターをあわせる

4 トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 50$ (ブラケット1個につき2本)

2方エプロンの場合



間口調整フィラーがない場合
カウンターの両端のすき間が均等になるように調整

カウンター長さ:1201~1454の場合
※間口調整フィラーがない場合も同様

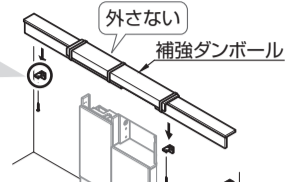


2 カウンターの仮固定

1 補強ダンボールをつけたまま乗せて各ブラケットとねじ1本で仮固定する
※プランによってブラケット、アングル材の位置・個数が異なります。
※使用しないブラケットが生じる場合があります。

金型ブラケットがある場合

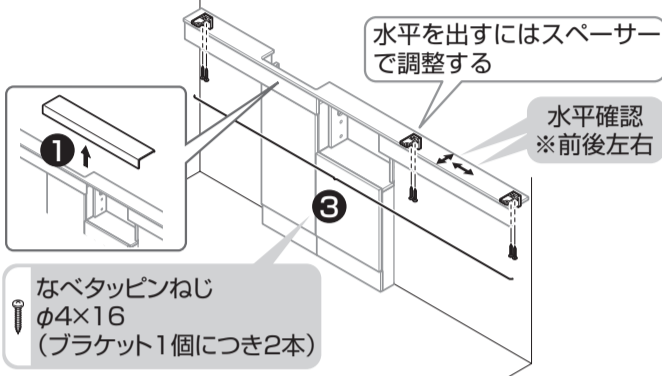
上面に両面テープを張る



3 カウンターの本固定

1 固定テープを切り補強ダンボールを外す
2 カウンターの水平を確認する
3 各ブラケットにねじ2本を加えて本固定する

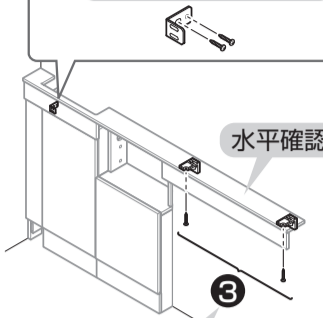
トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 16$ (ブラケット1個につき1本)



1方エプロン・2方エプロン (カウンター長さ:901~1454)の場合

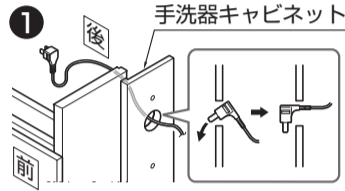
※間口調整フィラーがない場合も同様

4 トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 12$ (2本)

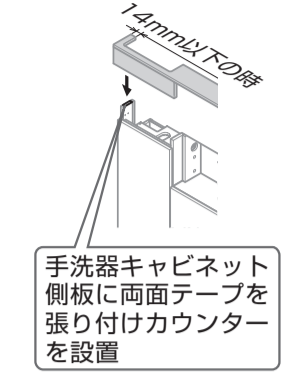


トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 16$ (ブラケット1個につき1本)

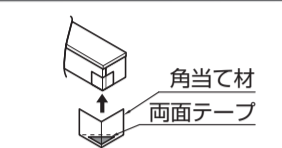
4 ビルトインリモコン



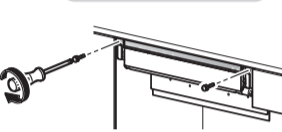
2方エプロン・ブラケットがない場合



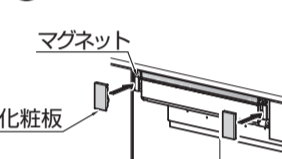
パケージタイプ(ショート)の場合



4 ナベ小ねじ $\phi 4 \times 10$ (2本)



5



1 手洗器固定金具

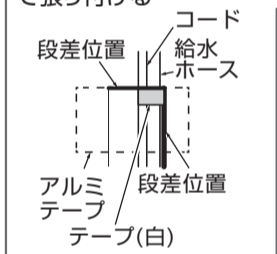
1 カウンターに乗せる
左
右
型紙
※左右で型紙の向きを変える

2 トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 20$ (4本)

自動水栓の場合

2 梱包時の給水ホースの固定テープを外す
※給水ホースをまとめているテープ(白)は外さない。

3 手洗器裏面横の段差位置とテープ(白)の角をあわせ、アルミテープで張り付ける



5 給水ホース・コードを通す
左勝手の場合
右勝手の場合

4 給水ホース・コードが手洗器の裏側に行かないよう処理する

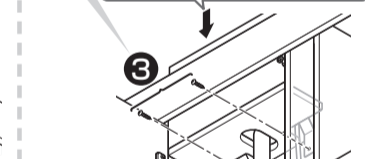
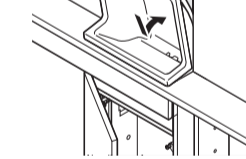
※図は左勝手。右勝手の場合は反対側。

ハンドル式水栓 / 自動水栓共通

1 引っ掛ける

トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 20$ (2本)

2 手洗器を押しつける



1 水栓給水管

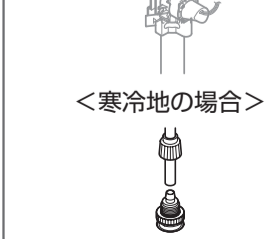
ハンドル式水栓の場合

3 ホースクランプ(ねじ固定)
2 配管用化粧カバー
背板から45mm
床仕上げ面から310mm

自動水栓の場合

2 <一般地の場合>
ホースクランプ

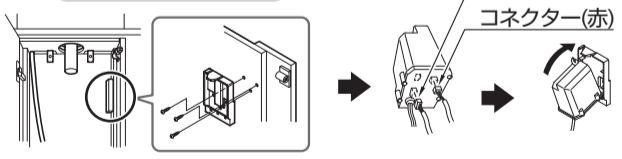
<寒冷地の場合>



自動水栓

2 コントローラー固定材

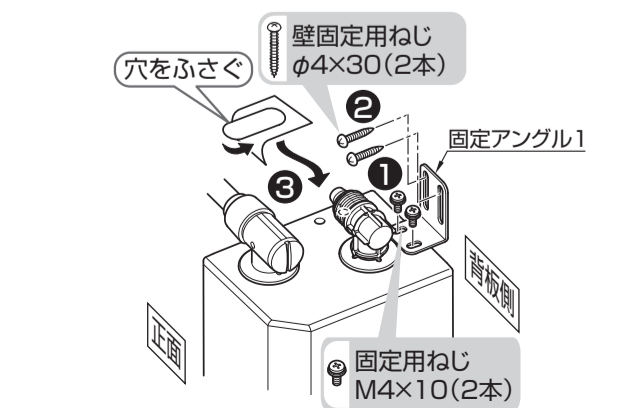
1 トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 14$ (3本)



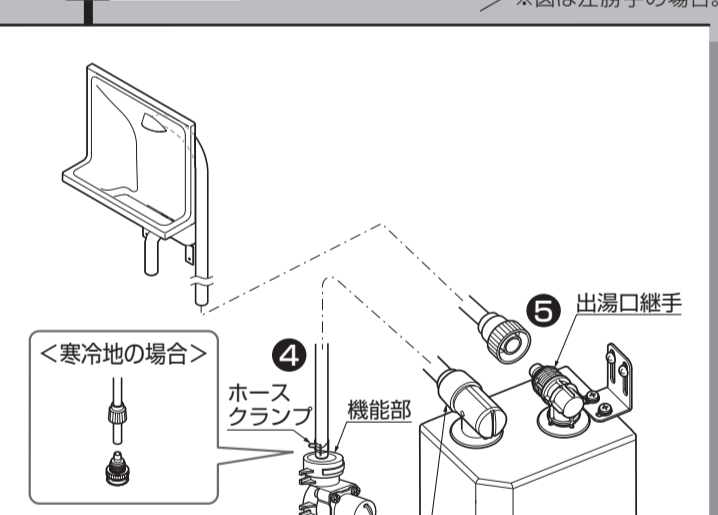
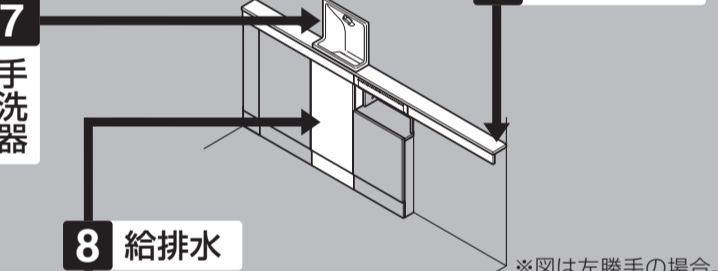
電気温水器付自動水栓の場合

3 電気温水器

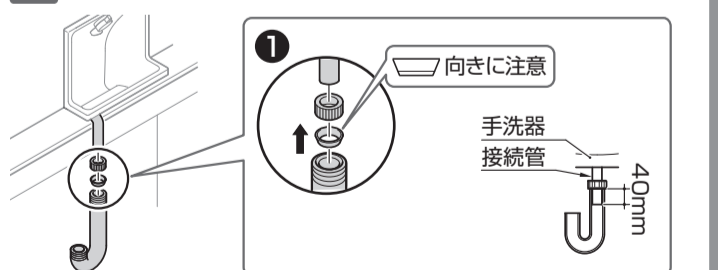
▶取付位置は本編P.47参照
電気温水器が付く場合は底板を先に付けてください。



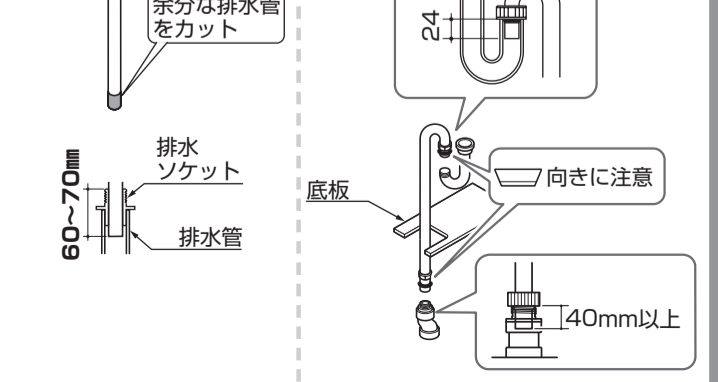
6 カウンター



4 排水管の接続



2 余分な排水管をカット

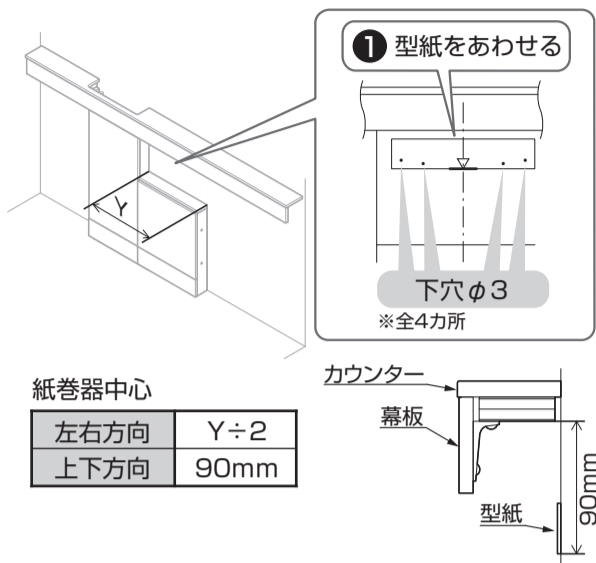


1 紙巻器

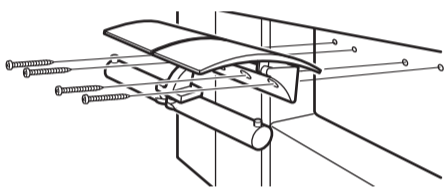
▶紙巻器設置位置は本編P.7参照

ビルトインリモコンなしの場合

メタル製紙巻器

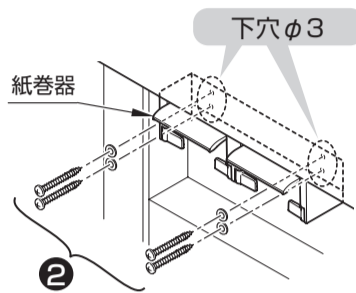
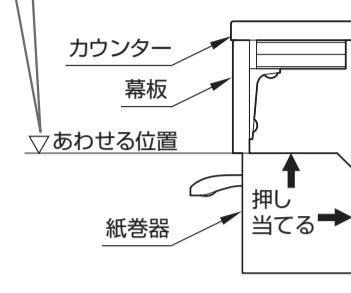


2 トラストッピンねじ
φ4×40(4本)



樹脂製紙巻器

1 紙巻器を幕板下端と
重なる位置にあわせる



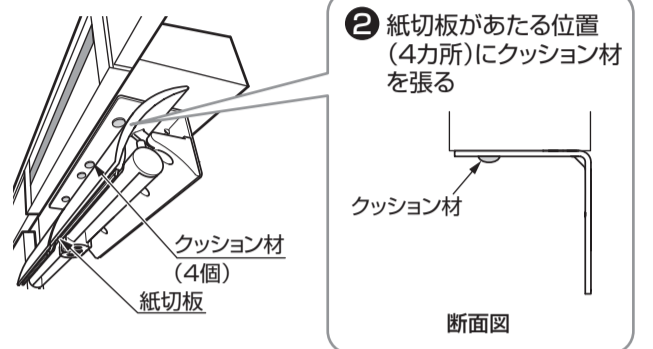
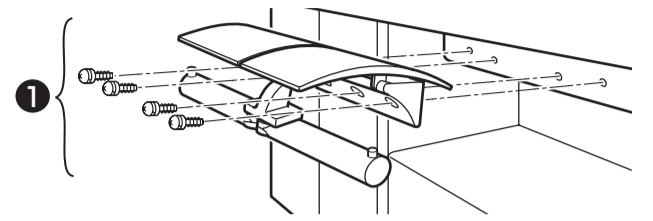
ねじセット①

- なべタッピンねじ
φ4.5×40(4本)
- ◎ 平座金(4個)

ビルトインリモコンありの場合

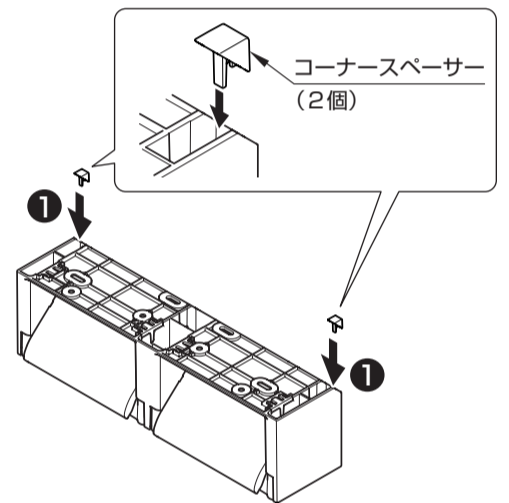
メタル製紙巻器

なべ座金組込小ねじ
M4×8(4本)

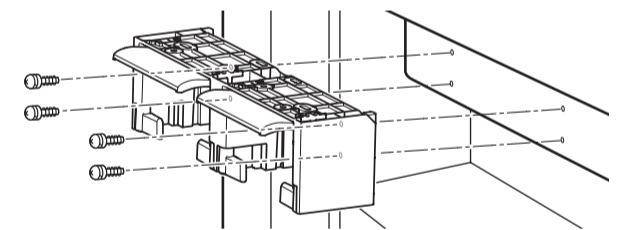


樹脂製紙巻器

【紙巻器設置前】



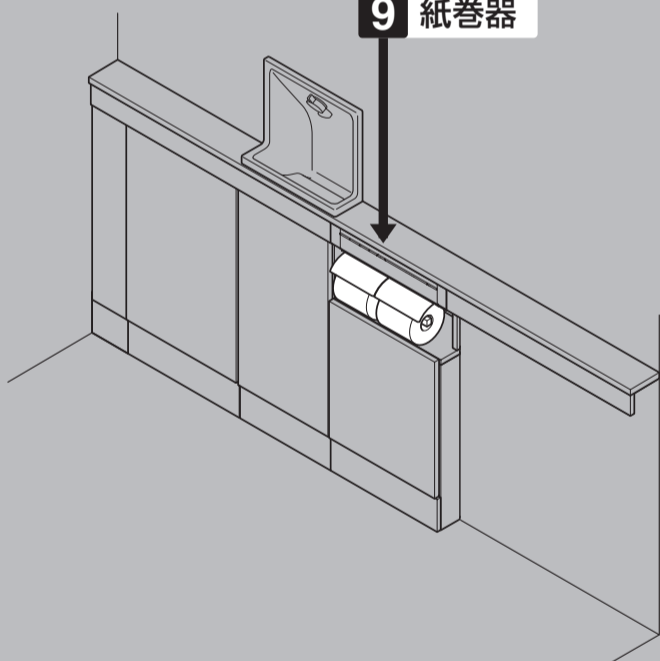
2



ねじセット③

なべ座金組込小ねじ
M4×12(4本)

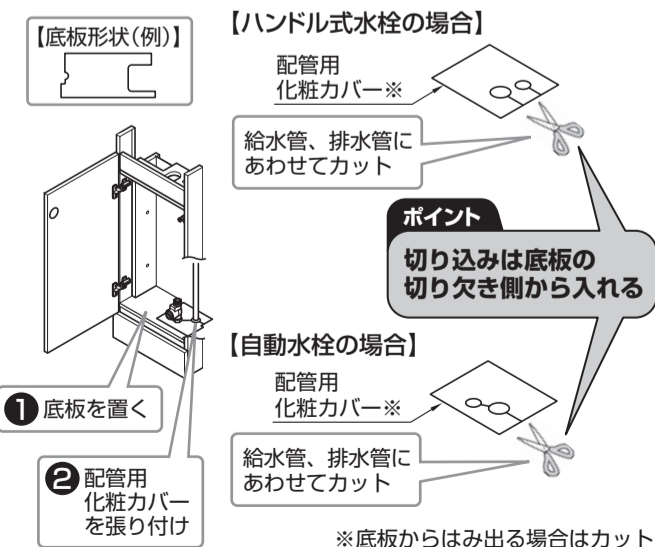
9 紙巻器



※図は左勝手の場合。

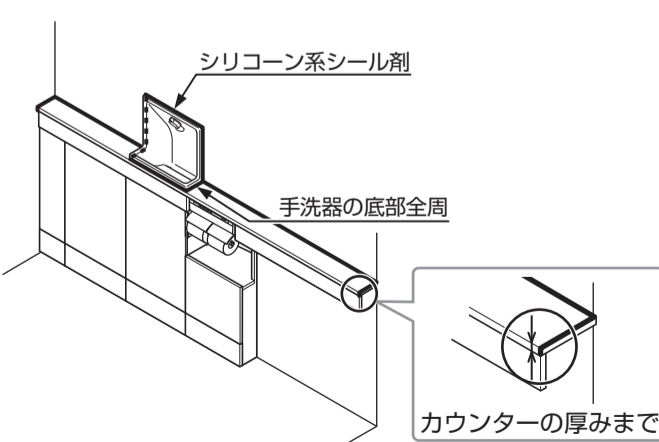
10 配管用化粧カバー

1 配管用化粧カバー



11 シリコン系シール剤

1 シリコン系シール剤



12 ビルトインリモコン組み合わせ設定

1 組み合わせ設定

▶本編P.60参照